

「この図書館、本がないなと
思ったひとへ」

看護学科教授 山田 真司

本学の図書館に入って、あれ本がないなと思ったひとはどうか以下をお読みください。

図書館の1階エレベータの前に新着図書とおぼしきコーナーがあります。一般書が多いので医療・福祉系の大学なのに文学や小説に力を入れているんだなあと思うでしょう。たぶんあなたは900番台は3階だろう当たりをつけて階段を上がり3階フロア一回ってみる。奥へ奥へと進み最後の書架にたどり着くとようやく900番台。えっ、これだけ？ そう、これだけ。

残念ながら小説に限らず昨年話題となった「サピエンス全史」のような本も図書館にはありません。では、読みたい本を図書館を通して手に入れることはできないのかというと二つの方法が可能です。

・1か月半待てるなら

リクエストしましょう。図書館で購入してくれます。詳細は図書館のホームページの最上段のメニュー「利用案内」－「学生の方へ」のページの下から4番目の「図書のリクエスト方法（PDF）」を読んでください、ただし、必ずしもリクエストが全て通るわけではないようです。なお、図書館に納品されて貸出準備が整えばメールで連絡してくれます。

・1週間ちょっとが限界なら

県立図書館からの相互貸借がお勧めです。当然ながら県立図書館にない本は無理ですが、県立図書館の蔵書は膨大です。配本されて貸出準備が整えばメールで連絡してくれます。県立図書館で貸出中ならば予約するかどうかの問い合わせメールが届きます。でも、人気作家の新刊であればリクエストの方が結局は速いと思います。

詳細は図書館のホームページの最上段のメニュー「利用案内」－「学生の方へ」のページの最下段「青森県立図書館の図書の取り寄せについて」を読んでください。

図書館のホームページは学外からのアクセスも可能ですし、スマートフォンからも可能です。つまり、いつでもどこからでもリクエストや県立図書館を利用できるのです。

もうひとつおまけ。蔵書検索もスマートフォンからできます。書棚の前で検索できるので、メモを取る必要はありません。インターネットは遠方からでも情報を取得できる手段と思われていますが、視点を変えるとこんな利用法もあります。